

## 10.3 京大集会について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2016年10月3日）

平成28年10月3日に同学会を自称する団体によって行われた一連の活動について標記の件につきまして、以下質問いたします。

1. 平成28年10月3日朝、本部構内クスノキ前に設置されていた看板について、どの部署がどのような理由で破壊及び撤去を試みたのでしょうか。
2. 平成28年10月3日朝、京都大学吉田キャンパス付近に展開していた警察・機動隊は、京都大学による通報または情報提供等によって展開したものか、京都大学による情報提供等はなく警察が勝手に展開したものかお答えください。

【回答】（回答日：2016年10月27日）

（学生担当理事・副学長川添信介）

1. まず背景として、「京都大学全学自治会同学会中央執行委員会」を名乗る団体が「4 学生への無期停学処分撤回 10.3 京大集会」を予告し、中核派の機関紙である「前進」では「時計台前（クスノキ前）を1万人で埋め尽くそう」と宣伝され、当日までの間、「同学会」を名乗る団体だけでなく、学外の中核派系全学連のメンバーが、情宣やビラまき、デモなどの活動をしていました。

そういった状況から、「1万人」という規模はともかく、多数の学外者が動員され、特に後期初日である10月3日は、クスノキ前での大きな混乱が強く予想されました。

そのため、本学は、9月30日に告示第6号を制定し、学生諸君には当該集会に関わらないよう注意喚起を行うとともに、学内ルールを無視して共用スペースを無断で占有する行為などの本学の平穏な教育研究環境を妨害することは、断じて許されるものではないこと、京都大学はこれらの行為には厳正に対処することを伝えました。

それにもかかわらず、10月3日当日、大きな混乱が予想されるその場所に、危険な大型の看板が設置され、本学敷地が不法に占有されていたことから、やむを得ず学生その他の通行人の安全確保のため、事務本部の職員が看板の撤去を行いました。

2. 上記のとおり、多数の学外者らによる大きな混乱が予想されたことから、学生その他の通行人の安全確保のため、入試の時などと同様に、大学は包括的な警備要請をしました。なお、公道上への警官の配置、その人数等については警察の判断によるものです。